

平成25年度七尾市中学生 私の主張発表大会

「言う」と 「言わない」の間で



七尾市長賞
森田美悠さん（田鶴浜中学校3年）

「やっぱり、おかしいんじゃない。自分が心にもないことを口にするのって…」。

現在、私は田鶴浜中の吹奏楽部の一員となつて、2年目になります。

初めの頃は、仲間になるために、相手に本音を伝えることが十分ではありませんでした。もし言ったりしたら、相手との関係が悪くなるのが怖かったのです。だから、勇気が出なかったのです。

しかし、去年のコンクールの結果が、私の目標にしていた色とは違って、納得のいかない日々が続きました。

そんなある日、ミーティング

が開かれました。議題は「今後の部活動の方針について」です。そのミーティングでは、皆が本音を話さなくてはなりません。そして、私の話す番になった時に、100パーセント自分の思いを伝えることができず、胸には、どこかうしろめたい気持ちが残っていました。

すると、講師の先生が、「それ、本音？」その言葉を聞いた瞬間、私の心を見透かされたようで、胸の鼓動がどんどん大きくなって、きました。と同時に、周りの反応が気になって仕方がありませんでした。その日、家に帰ってから

ずっと、講師の先生から言われた本音という言葉が、頭から離れませんでした。そんな様子を見た母が、「どうしたん？なんか暗いぜ」その母の言葉を聞いて、自分の思っていること

全てを打ち明けてみました。すると、どんだん心が軽くなっていき、言えなかった本音を友達に言ってみよう、という気になりました。その時の私の心は、とてもスッキリした気持ちでいっぱいになりました。

次の日、勇気を出して本音をメンバーに伝えてみました。「ここ、もっとこうした方がいいんじゃないかな」と、アドバイスをしたところ「ああ、そっか」と

私の意見を受け入れてくれました。ところが、メンバーの一人が、「でも、私はこうした方が良いと思うけどな」と反論しました。その言葉を聞いて、言わなければよかったと、少し心が揺れ始めました。すると、

反論したメンバーが、「じゃあ、両方やってどっちが曲に合っているか、やってみよう」という言葉で、今まで何を恐れていたんだらうと、言わなかった自分が恥ずかしくなりました。

それからというもの、私はできる限り本音で話すようになっています。例えば、授業中の発言を増やすようにすること、自主的

な行動をすること。前までの私なら、「誰かがやってくれる」「発表して失敗でもしたら」とやはり消極的な考え方しかできませんでした。

でも、今の私は違います。自分なりにできることをしようと努力しています。あれ以来、本音をぶつけたが為に、相手と衝突することもありませんでした。それでも、前の本音を言わない私より、ずっと私らしいと思っています。

自分の本心を言えずに、悩んでいる人はいませんか。以前の私のように…。確かに、相手にはつきりと物を言うのは難しいです。少し間違えれば、相手との間に溝ができる可能性もあります。でも、だからといって相手と向き合わずに終わって良いのでしょうか。後悔しませんか？勇気を出して言ってみれば、きっと相手も受け止めてくれるはずです。だからこそ、言わないよりも、言ってみたらどうですか？自分の本音を言ってみませんか？

※原文通り記載しています。

【受賞されたみなさん】

七尾市議会議長賞

偶然がくれた宝物

御成中学校3年
田畑 佳穂さん



七尾市教育委員会教育長賞

生きていくために

御成中学校3年
安原 菜夏さん



七尾市話し方研究協議会会長賞

Dear my father
and every one

七尾東部中学校3年
平山 夏帆さん



奨励賞

魔法のおばさん

七尾東部中学校3年
石崎 陽和さん



奨励賞

挨拶で人はつながれる

朝日中学校1年
水谷内 俊男さん



奨励賞

あいさつ

中島中学校3年
山本 祥伍さん



奨励賞

仲間の大切さ

能登香島中学校3年
柿島 麗さん



奨励賞

家族の絆

能登香島中学校3年
竹内 麻佑子さん



奨励賞

感謝

朝日中学校3年
荒川 流樹也さん



奨励賞

自分にできること

中島中学校3年
松本 美穂さん



※奨励賞は発表順に掲載しています。